

気仙沼の環境問題を絵本にして子供たちに伝えることによって 将来の世代の意識向上に繋がるか

気仙沼高校 1213B班

I. 序論

気仙沼市の環境問題

地球温暖化 海洋プラスチックゴミ 森林伐採

海洋ゴミの種類

その他

11.0%

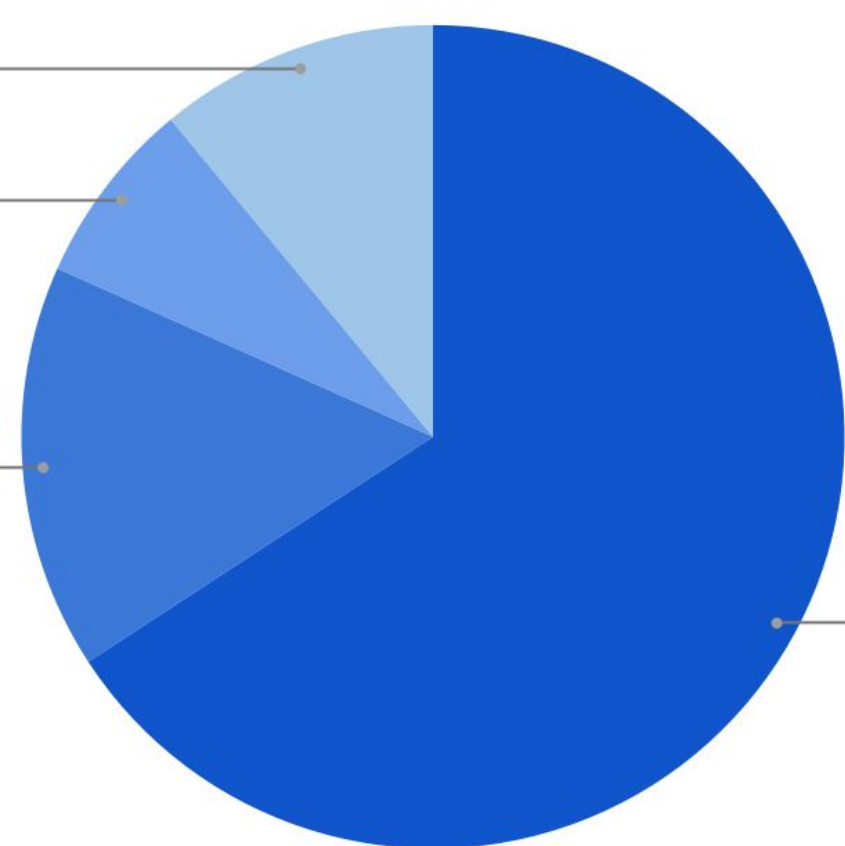
木材

7.3%

自然物

15.9%

世界でも問題と
されている！！



プラスチック

65.8%

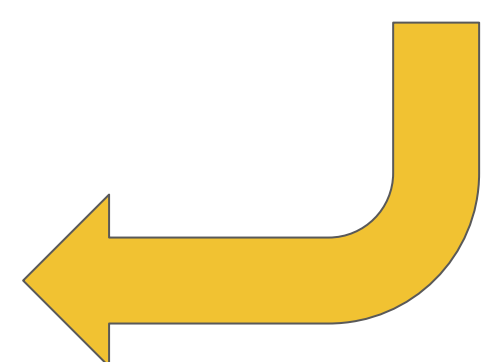
◎気仙沼で最も身近な海洋ゴミ問題に着目

海洋プラスチックゴミ問題

魚の体内に入る → 人間にも健康被害

漁具が絡まり死んでしまう → 漁業への影響

長期的にゴミを減らす活動が必要



II. 現状

問題とされること

- ・地上で出たゴミが雨風によって流され海に流れる
- ・漁具等の不法投棄
- ・リサイクルなどの取り組みへの非協力的な姿勢

今の私たちにできること

- ・プラスチック商品を使わない
- ・清掃活動に参加
- ・3R への取り組み

今すぐに解決するのは難しい



今の私たちが行動していることを未来の世代にも伝える

III. 仮説

子供たちに海洋プラスチックゴミ問題の現状について少しでも知ってもらうことで、社会人になった後も環境問題に関心を持ってくれるのではないか

絵本を作ることで環境問題に
興味を持ってもらえるのではないか

参考文献

気仙沼市役所生活環境課 パンフレット

宮城県教育大学 O.T先生

日本財団 海と日本プロジェクト [宮城海ごみなくし隊 \(knb-tv.co.jp\)](http://knb-tv.co.jp)

V. まとめ

先生や友人たちに実際に読んでもらい評価をもらった

・海にごみを捨ててはいけないと強く感じさせるものだったと思う。小さな子供でも理解しやすいもので、幅広い世代に読んでもらえるものだと思う。(英語科の先生)

・内容が分かりやすく、ストーリーも様々な展開があって、楽しく読めた。絵もかわいく見やすかった。(理科科の先生)

・表現が分かりにくいところあった。魚の気持ちになって考えるという視点が子供にも分かりやすいと思う(数学科の先生)

・色が入ったらもっとわかりやすくなると思うから、また読ませてほしい。絵が丁寧で分かりやすかった。(女子生徒)

意識向上まではいかなくても
改善の意識を持ってもらうことはできる

VI. 今後の課題

絵本を完成させて、改善し、
実際に子供たちに繰り返し読んでもらう



その結果を基にクイズなどを出して少しでも環境問題のことを知り、興味を持ってもらえたか調査する

IV. 実際に絵本を作ってみた

対象 5歳～8歳くらいの子供

舞台 気仙沼の海

題材 海洋プラスチックゴミ問題

あらすじ

主人公は、きれいだった海に住む魚のラスクくん。お母さんが使われず放置された漁業用の網に絡まっているところをラスクくんが助け出します。でもそのせいで今度は自分が絡まってしまっ...

小さい子にも伝わるように工夫した点

小さい子にも理解できる言葉を使用して、イラストやストーリーを分かりやすく作成した